

| |
|--|
| 解禁日時 |
| テレビ・ラジオ・インターネットとも 平成28年6月17日（金） 審議会終了後（17時めど） 新聞報道は18日（土）朝刊以降 |

| | |
|------------|----------------|
| 資料提供 | |
| 平成28年6月10日 | |
| 担当 | 文化財課 （北・森藤） |
| 電話番号 | 0857-26-7932 |

大山寺旧境内の国史跡指定及び摩尼山の登録記念物登録の答申について

国の文化審議会（文部科学大臣の諮問機関、会長 馬淵明子国立西洋美術館館長）は、平成28年6月17日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、大山寺旧境内（西伯郡大山町）の史跡への新指定及び摩尼山（鳥取市）の登録記念物（名勝地関係）への新登録について、文部科学大臣に答申する予定です。

※ 報道の取扱いは、文部科学省の依頼により平成28年6月17日（金）の文化審議会終了後（17時めど）の解禁をお願いします。文化審議会が終了（答申）次第、別途連絡します。

記

1 大山寺旧境内の史跡指定について

(1) 対象史跡の名称

大山寺旧境内

(2) 指定対象の所在地

西伯郡大山町大山字中門院谷1番ほか

(3) 指定対象地の面積

435,008.62㎡

(4) 所有関係の概要

大山町有地：19,535.29㎡

社寺有地：415,473.33㎡

(5) 指定答申における評価

古くからの信仰の山である中国山地最高峰、大山（^{みせん} 1,709m）の北面中腹に位置する山林寺院。地蔵菩薩の垂迹、大智明権現菩薩を信仰の中心とし、中世に最大となった。近世には三院四十二坊の体制をとり、中・近世の建造物が遺存するとともに、子院（僧坊）跡にも石垣、土塁などが残る。

我が国を代表する山林寺院のひとつとして重要。

(6) 指定対象地の概要

＜古くからの信仰の山である大山の中腹に位置する我が国を代表する山林寺院＞

大山寺は山号を角盤山かくばんさんといい、中国地方の最高峰大山の中腹に所在する天台宗の山林寺院である。

大山は「出雲国風土記」に火神岳ひのかみのたけあるいは大神岳おおかみのたけと記載された、古くから信仰の対象とされた山である。「選集抄」せんじゅうしょう（1250年頃成立）は、8世紀後半の称徳天皇の頃、出雲国くじのみや造俊方が地藏菩薩を大智明権現だいちみょうごんげんとして祀ったと伝える。平安時代後期には、天台密教、浄土信仰、神道及び修験道の影響のもと、大智明権現を信仰の核に、釈迦如来、阿弥陀如来、大日如来の信仰をそれぞれ中心とする、南光院なんこういん、西明院さいみょういん、中門院ちゅうもんいんの三院が成立する。それらの附属の堂社僧坊群が形成されていき、史料や発掘調査成果からは、中世に最大規模となったことが判明している。

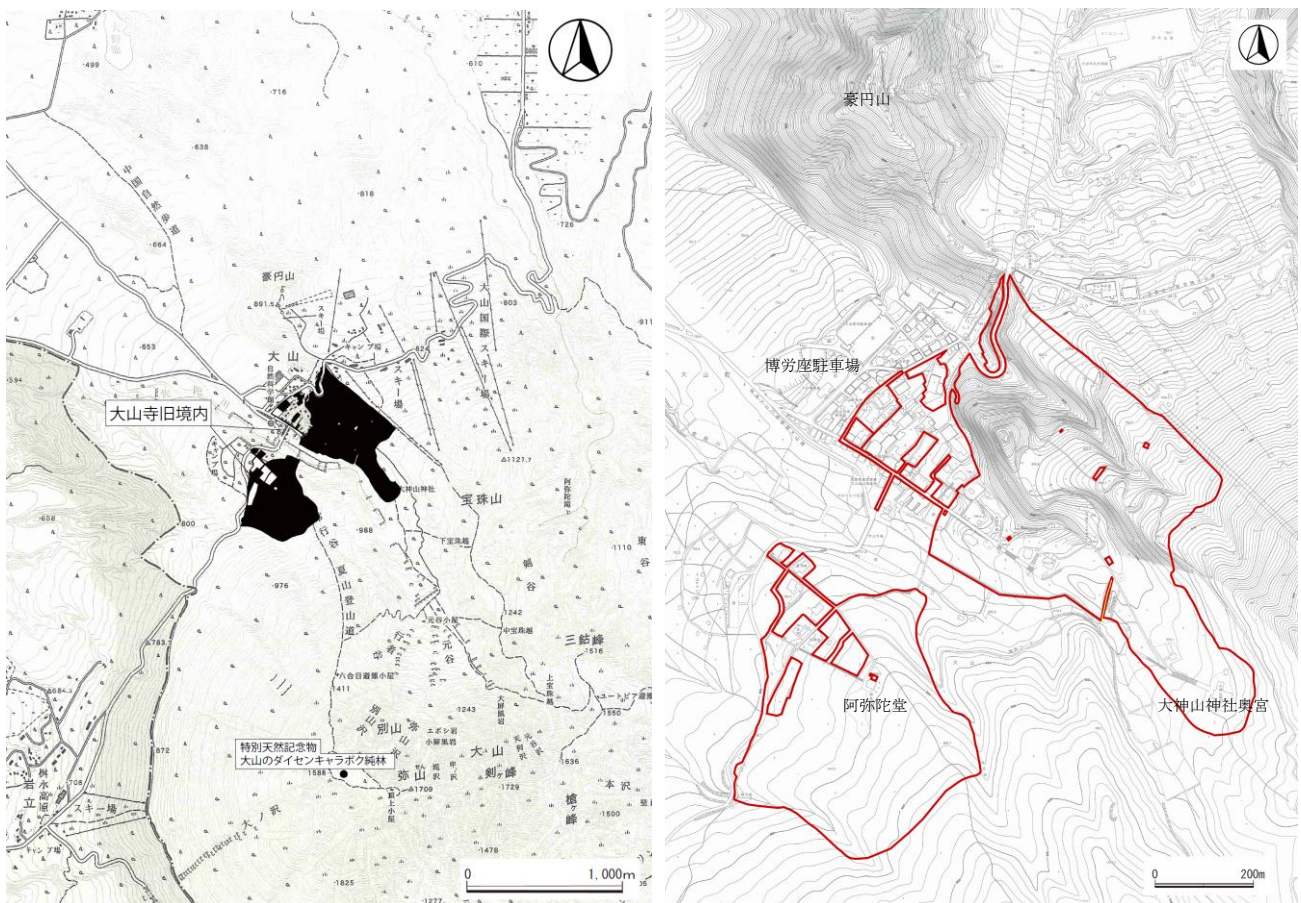
近世には、幕府から寺領三千石を安堵され、西楽院を本坊として、南光院なんこういん、西明院さいみょういん、中門院ちゅうもんいんとその僧坊を支配する一山三院四十二坊の体制が確立した。そして、牛馬の守護神や祖霊神の信仰と結びついて発展し、近世後期には大山信仰圏は、中国地方、四国北部にまで拡大して隆盛を誇った。

明治維新で寺領を失った大山寺は、明治8年（1875）に寺号廃絶のうえ大智明権現社が大神山神社奥宮に定められた。寺号復活が認められたのは明治36年（1903）のことである。

旧境内には、国指定重要文化財の大山寺阿弥陀堂おおがみやまじんじゃおくのみや、大神山神社奥宮しよまじんじゃなどの近世以前の建物が残り、廃絶した子院（僧坊）跡にも、石垣、土塁、参道なども良好に残っている。

大山町教育委員会の総合調査の結果、我が国を代表する山林寺院のひとつであることが明確となった。

＜図・写真＞



指定対象地の位置（左 黒塗り、右 赤線内が指定対象地）



大山寺旧境内の全景



大神山神社奥宮（重要文化財）



旧本坊西楽院跡



阿弥陀堂参詣道と子院（僧坊）跡

2 摩尼山の登録記念物（名勝地関係）登録について

（1）対象記念物の名称

摩尼山
まにさん

（2）登録対象の所在地

鳥取市覚寺字一本松624番ほか

（3）登録対象地の面積

367, 296 m²（寺有地、市有地）

（4）登録対象地の概要

＜奥の院の奇景と立岩からの眺望に優れた天台宗の古刹＞

鳥取市覚寺かくじに位置する喜見山きけんざん摩尼寺まにじの境内を成す摩尼山まにさん（標高357m）は、大山・三徳山と並ぶ

天台宗の拠点的靈山として信仰を集めてきた。旧参道と歴代住職等墓所、山腹の境内地に建立された堂宇群、自然環境などから成る風致景觀が良好に保全されており、巨巖・岩窟等から成る奥の院の奇景に優れている。山内に点在する多くの石仏群も独特の風致を添え、日本海・鳥取砂丘等を一望する鷲が峰（立岩）はこの地域を代表する展望地点として親しまれてきており、自然の名勝地として意義深い事例である。

<図・写真>



対象地の位置



摩尼寺本堂



奥の院遺跡の巨巖

○今回、国で答申が行われる史跡等の件数

史跡名勝天然記念物（平成28年6月17日現在）

| 種別 | 現在指定 件数 | 今回答申件数 | | | 合計（現在指定件数と答 申件数との合計） |
|----------------------|----------------|-----------|----------|------------|-------------------------|
| | | 新指定 | 解除 | 統合に よる減 | |
| 史跡 （うち特別史跡） | 1,760 (61) | 12 (0) | 0 (0) | 2 (0) | 1,772 (61) |
| 名勝 （うち特別名勝） | 398 (36) | 2 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 400 (36) |
| 天然記念物 （うち特別天然記念物） | 1,021 (75) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1,022 (75) |
| 合計 | 3,179 (172) | 15 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 3,194 (172) |

※ 件数は、同一の物件につき、2つの種別に重複して指定が行われている場合（例えば、名勝及び天然記念物など）、それぞれの種別につき1件として数えたものです。

重複指定物件を1件として数えた場合、現在指定件数は3,067件、答申後合計件数は、3,082件です。

登録記念物（平成28年6月17日現在）

| 種別 | 現在指定 件数 | 今回答申件数 | | 合計（現在指定件数と答 申件数との合計） |
|-------------------|------------|--------|----|-------------------------|
| | | 新登録 | 抹消 | |
| 遺跡関係 | 10 | 0 | 4 | 6 |
| 名勝地関係 | 82 | 3 | 0 | 85 |
| 動物、植物及び 地質鉱物関係 | 6 | 0 | 0 | 6 |
| 合計 | 98 | 3 | 4 | 97 |

※ 件数は、同一の物件につき、2つの種別に重複して登録が行われている場合（例えば、遺跡関係及び名勝地関係など）、それぞれの種別につき1件として数えたものです。

重複指定物件を1件として数えた場合、現在登録件数は96件、答申後合計件数は、95件です。

○鳥取県の国、県指定史跡、登録記念物件数（今回答申後）

| 国指定特別史跡 | 国指定史跡 | 国指定 名勝及び史跡 | 県指定史跡 | 登録記念物 (名勝地関係) |
|---------|-------|---------------|-------|------------------|
| 1 | 32 | 1 | 19 | 3 |